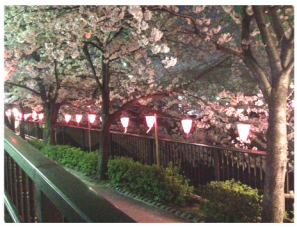
●ぼんぼりにありがとう

二月頃から川沿いに灯す桜まつりのぼんぼりの注文を取りに町内を歩きます。今年は保育士になって初めて１０人の子どもたち受け持たせていただき、とてもかわいく、みんなを喜ばせてあげたいと、自前で１００人それぞれの名前が書かれた１００個のぼんぼりを注文しました。親御さんたちから「子どもたちと桜を見に行くのが今から楽しみです。」と嬉しそうに言っていただきました。

合計で４千個の注文をいただき、三月から作り始めて、桜の開花ギリギリに間に合いました。法人名、個人名、メッセージなどの書かれたぼんぼりは、川沿いの桜を美しく照らし、毎年大勢の花見客で連日にぎわいます。保育園の子どもたちは自分の名前のぼんぼりをみつけたかなぁ。

やさしい心になれました。ありがとう。



（目黒区／Ｙ・Ｓ）

●春の香りをありがとう

祝賀会の会席で一緒のテーブルになった福山の方と意気投合し、記念にと写真を撮り「楽しい時間をご一緒させていただき、ありがとうございました。」と一筆添えて、写真を送りました。

後日、その方から箱いっぱいのつくしが届き「厳しい冬から暖春の息吹を告げる草花を感じていただきたく、春の香りを届けさせていただきますので、ご賞味いただければ幸いです。」と手紙が同封されていました。

東京ではつくしは珍しく、田舎育ちの私は久しぶりにつくしを見て、懐かしい故郷の匂いを感じながら、絵手紙を書いてお返事しました。春の香りをありがとう。

（品川区／Ｔ・Ｎ）

●娘と２人の孫にありがとう

娘が病気で入院したため、２人の孫を１週間預かりました。保育園の年長になった上の子は、空き箱とテープで創造力豊かに立体的なゲームを作って遊んでいました。そんなことが出来るようになったのかと思い、孫の成長に驚き感動しました。

また、妹を保育園に送っていた時のこと、妹を抱きしめて「ママはももちゃんの胸の中にいるからね。」と年長になったばかりのお姉ちゃんはママの真似をしているようです。娘はいつもこのようにして保育園に預けているのだと知りました。離婚をし女手一つで仕事をしながら子育てをしている様子が見えてきました。

娘のがんばりを丸ごと受け入れることが出来、ジージは孫が中学生になるまで働くぞと、バーバは娘を支えて行こうと決意しました。孫のお陰で生きがいをもらったよ。ありがとう。

（大田区／Ｋ・Ｉ）

●フラダンスにありがとう

老後の楽しみにとフラダンスを習い始めて半年になります。

フラを楽しむ会で毎年、地域の桜まつりに出演しています。数日前から暖かい日が続き、ふっくら膨らんだつぼみもきれいに咲き誇りました。会場のふれあい橋は川沿いの桜が咲き、ピンクの雲の上に橋が架かっているようでした。

当日はお花見にみえた人が集まって来ました。家族も応援に来てくれています。８０～６０代の高齢者が衣装に着替え、髪飾りを着けて、陽気に笑顔で踊るのがフラだそうです。長く踊っている方は、踊りの表情が笑顔で体の動きもしなやかで、お客様を魅了していました。

姥桜もきれいに輝いた１時間の出演も終了。始めてのフラダンス、笑顔まではいきませんでしたが、楽しく踊らさせていただきました。踊る機会をありがとう。

（目黒区／Ｋ・Ｏ）

●バースデーカードをありがとう

Ｎさんから今年もかわいいカードと手紙が届きました。私への誕生日のお祝いのカードです。

カードは英語でＨＡＰＰＹ　ＢＩＲＴＨＤＡＹと書かれています。その英語はラメ入りで星が付いていたり、小鳥がさえずっていたり、蝶々が飛んでいたりして、本当に春らしいカードです。

私は、数十年も前に生まれたので年をとると誕生日が来ても特別お祝いなんて珍しくもありません。また年をとったのかと軽く思っています。ところがＮさんは毎年忘れずにカードを送ってくれるのです。送ってもらうと生きている喜びを感じ嬉しくなります。

Ｎさんは子どもが３人いて、男１人、女２人、みんな成人して仕事を持っています。小さい頃から子どもたちの近況を詳しく知らせてくれます。孫も２人いるおばあちゃんです。顔はゆで卵の白身の様につるつるでかわいい顔で、コロコロ笑い、話していると楽しくなります。何より性格美人で、心が和みます。両親がよほど大事に育てたのでしょう。ご主人もそんなＮさんに家庭のことを任せ、いろいろ協力してくれるのだと思います。

今はなかなか会うこともありませんが、カードが来るのを楽しみにしています。Ｎさん、今年もカードをありがとう。

（目黒区／Ｈ・Ｏ）

©2015.4 by Holonics Sohken Co.Ltd.

発行：株式会社 ありがとう・不動産　〒113-0033　東京都文京区本郷1-35-12 かんだビル7階　TEL.03-5684-1039　FAX.03-5684-0031

●母校にありがとう

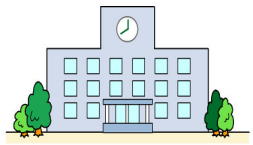
戦後間もなく出来た中学校で六十八年続きましたが、生徒が少なくなり、私や息子たちが通っていた中学校が統合されることになり、三月十四日に閉校式が行われました。

式で「親子３代の卒業生の方はいらっしゃいますか？」と質問すると３組いらっしゃいました。

友達と学んだ思い出深い学校名が変わることに寂しさを感じましたが、四月から入学する生徒は一期生になれると喜んでいました。こんな喜び方もあることを教わりました。

六十八年間ありがとうございました。

（東京都／Ｔ・Ｈ）



●喜寿のお祝いにありがとう

どこへ出かけるのも一緒で、とても仲の良いご夫婦でしたが、十年前に奥さんを亡くされ、お子さんがいなかったようで、ご主人は一人暮らしをされています。最近落ち込んでいるようで元気がありません。

心配になり、みんなで喜寿のお祝いをしてあげようと計画を立てました。プレゼントに紫のワイシャツを用意して、お店も予約しました。

当日は仲良しが集まり、話しに花が咲きました。突然のお祝いにご主人も大変喜んでくださり、終始にこにこ笑顔で皆もほっとしました。

いつまでもお元気でいてくださいね。

（北区／Ｅ・Ｍ）

●お袋さん、ありがとう

三月も半ばを過ぎると、狭い庭先で咲いていた紅梅も生気が失せて来るとともに、香りも薄らいできました。すると今度は、辺り一面を沈丁花の甘い香りが漂い始めました。この様にして香りだけで時節の変わりを知ることが出来るのは有りがたいことです。

四季を通じて咲く花たちの中で、ぼくが取り分け好きなのがこの沈丁花なのです。それには思い入れがあるからです。

ぼくは、子供の頃から病弱で冬になると、毎年のように扁桃腺炎を患っていました。高熱が数日間下がらずに臥せっていると、お袋がのどの痛みを治すのに良いからといっては、切ったネギを手拭に包み首に巻いてくれたり、あれこれと看病してくれました。

やがて、快方する頃になると何処からともなく、ふくいくとした沈丁花の香りがしてくるのです。

そうすると子供心に「ああ春だ、もう扁桃腺炎や寒さにも、おさらばだ。」と、ほっと胸をなで下ろしていたあの頃の記憶が今でも尾を引いているのです。

お彼岸のお中日、菩提寺へお墓参りに行ってきました。墓前に線香と花を手向けて、お袋に語りかけました。さんざん苦労ばかり掛けたのに、何一つ親孝行もしなかったことを詫びました。

そして、今年で七十五になり、お袋の享年を五年も超えてしまったこと、何とか生きてるが、あちこちガタがきているのでそう長くはないこと、そして、その内そちらに行ったら思う存分に、肩を揉んであげることを約束しました。墓石の周りからは以前に植えた沈丁花の香りと、抹香の匂いが立ち込めていました。そして後ろ髪を（髪はない）引かれる思いで寺を辞しました。

お袋、ありがとう。

（世田谷区／Ｈ・Ａ）

●相談に乗ってくれてありがとう

私たち夫婦にはあまり会話がありません。主人が一方的に４才になる息子にサッカーを習わせています。どう見ても息子は好きではなさそうです。じっと観察するのが得意な子なので、今度はピアノを習わせろと言い出します。

人生の先輩に「子育てについていくら話しても主人とは意見が合いません。」と相談しました。すると「子どもをきっかけにご主人と話しが出来て良かったね。」と言ってもらい気持ちが軽くなりました。

「主人はお酒を飲むとわからなくなり、社員証をすぐになくしてしまうんです。」と相談すると「首からさげてあげなさい。」とケースをいただきました。それから社員証をなくすことがなくなりました。

相談すると不満が一つひとつ解消されていき、大きく成長するようで嬉しいです。いつも相談に乗ってくれてありがとうございます。

（横浜市／Ｓ・Ｎ）

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せていただいた「ありがとう」のことばに因んだ思い出を、作文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には、ささやかではございますが、オリジナル「ありがとうメガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。

皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されてはいかがでしょう。

編集へのご意見やご提案がございましたら是非ともお聞かせください。

【携帯Deショット】

首都高速道路・神田橋口を出ると街路樹のモクレンが今を盛りに咲いています。

ハクモクレンとシモクレンがありますが、花が蘭に似ていることでキラン（木蘭）とをいわれ、今では蓮の花に似ているとして木蓮という呼び名が一般的。

【花言葉】自然への愛、崇高、持続性

●携帯電話の方はＱＲコードから　→→→
●パソコンの方は下記のＵＲＬから↓
http://1039.seesaa.net/
●メールでのご投稿は…
info@holonics.gr.jp

【編集・企画】株式会社ホロニックス総研・編集部

©2015.4 by Holonics Sohken Co.Ltd.　http://1039.seesaa.net

発行：株式会社 ありがとう・不動産　〒113-0033　東京都文京区本郷1-35-12 かんだビル7階　TEL.03-5684-1039　FAX.03-5684-0031